

## 2010年度第2回理事会報告

# 『沖縄・安保』 おおいに学び、話し合い、踏み出そう!

9月18日(土) 第2回理事会において、秋のいっせい宣伝行動など、9/4の常任理事会に提案された内容について、より議論を深め、意思統一と具体化を図りました。(36名参加)  
(事務局長 木村 泉)



### ◆「沖縄基地視察ツアー」報告(8月24日～27日実施)

#### ①企画・内容について

宜野湾市長「伊波洋一」氏への表敬訪問と懇談、前泊博盛氏(琉球新報論説委員長)の講演辺野古の座り込みのみなさんとの交流等、単なる観光ツアーでない「連帯と学習の旅」であった。

#### ②よかったこと・考慮すべきこと

・「普天間移設を巡る沖縄の9万人集会(4月)と普天間基地移設と辺野古への基地建設に関連していることや、表敬訪問や講演等を含め、情勢に見合ったものでした。

・返還された米軍基地跡地が開発され、雇用、税収ともに何十倍と なるという事が実感できました。

・日程に無理がなかったこともあり、懇親会等を含め、参加者の連帯が図れました。

・他の民主団体の行事と重なったり、直前に参議院選挙が行なわれたことなどにより、取り組みが遅れたました。

★人口6万人の名護市議選の結果いかに、日米軍事同盟に大きな 風穴をあける事実があきらかです。

### ◆「平和を考える特別旬間」等の報告

・今年も約20ヶ所で多様な取り組みが行われました。一般新聞が写真入りで取り上げたり、市町村の支援を受けた実践も報告されました。各自治体や教育委員会の後援をとりつけることの重要性が、複数の理事から提起されました。

・展示と合わせて、戦争体験を聞く会やアニメ・DVD上映等も行ったことが良かったとの意見が寄せられました。

### ◆「秋のいっせい宣伝活動」「平和広告」を成功させよう

#### 1) 秋のいっせい宣伝行動

・沖縄との連帯に視点を置き、沖縄の基地問題は「日米安保条約」と直結していることを県民に知らせます。

・反核・平和の運動、署名を強化します。

○チラシ配布・・・各平和の会で話し合いを進め、情勢と力量に応じ、最大限努力します。

・内容は、「普天間基地問題・米軍基地撤去・安保廃棄」とし、「B4版」裏・表です。

・手撒き、新聞折込等の手だてや、実情に応じた配付枚数を各平和の会で話し合い、具体化します。

○ハンドマイク等を活用し音の出る宣伝活動にとりくみます。

#### 2) 基地反対派の沖縄知事選挙支援のとりくみ

普天間基地撤去、辺野古基地新設白紙撤回、沖縄米軍基地撤去等のたたかいの帰趨を決める沖縄知事選挙が、11月28日に行なわれます。基地撤去を掲げる統一候補を支援します。

・カンパ、寄せ書き等、多様な方法でとりくみます。

#### 3) 学習会のとりくみ 10月24日(日)13:30～。グリーンパレス石岡(旧称:石岡営農センター)

「どうなる沖縄知事選-米軍基地撤去のたたかい」の学習会を実施します。講師には山田敬男氏(学習協)を予定しています。万障繰り合わせのうえ参加下さい。

#### 4) 平和広告のとりくみ

内容は「米軍基地はいらない」の視点で沖縄と茨城県民との連帯を深める運動を展開します。

#### 10月上旬～11月中・下旬(賛同者を募ります)

・掲載紙:朝日新聞で検討し、常任理事会で決めます。

・12月8日付 太平洋戦争開戦日(例年この日の掲載しています)

・個人賛同者は1000円とし、1300名、団体賛同者は3000円とし130団体の賛同を目ざします。

#### 5) ワイン販売(11月～12月・純国産・価格1500円です)

・平和活動であることを再度確認し、「平和を考えるワイン」であることを強調します。100円地元還元です。

・「茨城平和委員会専用ラベル」の貼付を検討します。ワインを飲んで平和を語りましょう。

### ◆「仲間づくり」「財政の確保」は運動の根本です

・「毎月5名以上の拡大と現勢を受けてとりくむ」ことが大会でも確認されています。

・現在増勢になっていますが、まだまだこれからです。各平和の会で話し合ってください。

今後、家族会員(会費300円)や賛助会員(年会費5000円)の拡大も強化していくことが確認されました。

### ◆平和大会:長崎県佐世保市で開催 11/20(土)～23(火)

・参加者を募ります。参加費に関しては各平和の会で、カンパ等で送り出してください。

#### 事務局から

「仲間作り」と「日々のとりくみ」は運動の基盤です、各平和の会では、話し合いを重視してほしい。話し合いの仲で、ともに学び、とりくみの知恵を出し合い、平和運動をすすめてください。



## 歓迎!新入会員さんです

よろしくお願ひします。

○鈴木 美代子さん(神栖市)

今月は1名の方のみでしたが、来月から各平和の会(平和委員会)のみなさんの力で月5名の仲間づくりを実現いたしましょう。

## 平和新聞

2010年9月25日(土曜日)  
1936号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.574  
2010.9/25

発行:茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



# 沖繩～この目で見て考える

八郷平和の会 柳岡 修二

普段からあまり学習意欲のない私が、県平和委員会で折角このような機会を作ってくれたのだからと、覚悟して参加しました。ツアーの事前学習の資料を読み、琉球新報論説委員長の前泊さん、現地平和委員会の方々、伊江島の故阿波根昌鴻（あわごん・しょうこう）さんの養女の謝花（じゃはな）さん、普天間基地を抱える伊波宜野湾市長の話、6年前に起きた沖繩国際大学の米軍ヘリ墜落事故現場の見学、辺野古の方々の話などから、沖繩の置かれている今日の姿を知ることができました。なかでも、墜落現場の話には戦慄を覚えました。国際大学の通りの向かい側のアパートにヘリの破片が吹っ飛び、ブロック塀の一部を破壊、また塀の上を越えた破片がアパートの一室に飛び込んだ。その数分前にはその部屋に、母親と赤ん坊がいたといひます。辺野古では小さな漁港ですが、鉄条網の内側、つまり基地の外であるにも拘わらず、武装した米兵が訓練で海から上陸してきたこともあったそうです。こんなことが許されるのでしょうか？辺野古移設は日本政府が当事者の頭越しにアメリカと合意し、自民党案とほとんど変わらぬ建設案を押しつけようとしていることには、呆れるばかりです。

私はツアーが終わってあれこれ自分なりに考えましたが、混乱するばかりでした。北朝鮮による拉致事件も、普天間問題も、解決を妨害しているのは、他ならぬ日本政府自体なのではないかと思えてなりません。名護市議選では基地反対派が多数を占めることになりましたが、本丸の11月の沖繩県知事選には、是が非でも伊波新知事を誕生させたい。これは単に沖繩だけのことでなく、『日本の平和と安全』にかかわる重大事だからです。

米軍は、自国の環境基準（国民に対してだけでなく、動植物にも）を守っていますが、日本人は対象としない。学校や病院など公共施設がびっしりとあるド真ん中の普天間基地。日米関係を象徴するこの姿を、多くの人に知ってほしいと思いました。沖繩の問題を自分の問題として捉えるにはどうすればい

いのか。どうすれば温度差を少しでも解消できるのかをよくよく考えなくてはいけないと感じました。

## ツアー こぼれ話

阿見平和の会 中山 熙之

総論を木村さんが書き、「学習と連帯の旅」であったと富山さんが述べている。これ以上、一般的な意義について記す必要もないだろう。あとは、佐喜眞美術館で受けた強いインパクトを多崎さんが記したように、個人の印象を書いていけばいい、と勝手に決めた。

伊江島と、美ら海（ちゅらうみ）水族館と、連日の飲み会が印象に残っているが、字数に限りがあるので飲み会は省く。伊江島で一番強く感じたのは、打ち寄せる波に「ゴミ」が全く無いこと。実にきれいな海水。これは、洞窟でも感じたし、海辺の泉（水汲み場）を高台から見下ろした時も感じた。なぜきれいなのかは分からない。が感動した。

同島では、農業用水の確保のために地下ダムが作られている。専門誌では見たことがあるが、現地で説明図を見るのも、まして建設現場を見るのも初めて。実際に見ると、必要性や効果が実感できる。地下にダムを作ったら陥没しないかと誰かが言っていたが、そんな心配はない。地下に空洞を掘るのでなく、山頂付近から海岸に向かって流下する地下水をところどころでせき止めるだけ。せき止められると地下水は流れなくなる。流れない水は水平になる。つまり下流部の地下水位が上がってくる。今まで海に流れ去っていた水が地下に貯まるわけだ。地下に水をためるから地下ダム。

辺野古の海岸で、多数の檣文が結び付けられた鉄条網を見た。この鉄条網が、くせもの。番線を撚（よ）り合わせた棘（とげ）でなく、たて1センチ横2センチくらいの四角い鉄片で、かみそりのように鋭い刃がついている。そういう小型かみそりが多数あるのだから、触ったら大怪我をするに違いない。アフガンやイラクで今実際に使われているものだからか。

あと、水族館。伊勢えび類のコーナーには、多数種類のロブスターが。うまそうだなと、内心で生唾を飲んだ。ジンベエザメが2頭いた。オスとメスだという。辛抱強く観察して、大きいほうがメスだと結論付けた。

本来の目的を達成したのは勿論だが、他にも色々収穫の多いツアーだった。



## 『代表理事・常任理事はこんな人』

第二回目は、代表理事・水野映一郎さんです。



私は、1934年12月生まれの75歳です。

1954年～73年までは自衛官、73年～96年は埼玉県での労働組合活動、その後、茨城県阿見町に移住し、「平和の会」を知り、その他多くの人と交わるなかで、平和は与えられるものではなく、守るものであることを知りました。今、地球上で生を受けている全ての人間が守るものです。

そのことを教えられ自らもまた、痛感しています。

「知は力」「数も力」これを肝に銘じ、学習を深め、仲間を増やし、次世代に平和を引き継ぐため、県平和委員会に微力を尽くしていきたいと考えています。



## 特別展 ひめゆり 平和への祈り

2010年9月19日(日)→10月24日(日)



水戸市立博物館（水戸市大町3-3-20）にて、核兵器廃絶平和都市宣言25周年記念特別展が行われています。

開館時間：午前9時30分～午後4時45分

休館日：月曜日（ただし9/20、10/11は開館）・祝日開館

主催：水戸市立博物館・ひめゆり平和記念資料館・朝日新聞社・水戸市・水戸市教育委員会